

V. 多様な交流・連携と「北海道型地域自律圏」形成プロジェクト 地域の実情や特性に応じた道独自の広域連携の推進 (28当初予算)

定住自立圏などの国の広域連携制度の活用や、北海道独自の広域連携制度により、道内各地域で、人口減少社会においても、市町村が多様な行政サービスを持続的に提供していくための効果的・効率的な広域連携を推進する。

北海道型地域自律圏の形成

道内各地域で地域の実情に応じた多様な連携を実施

国の制度活用

道独自の取組

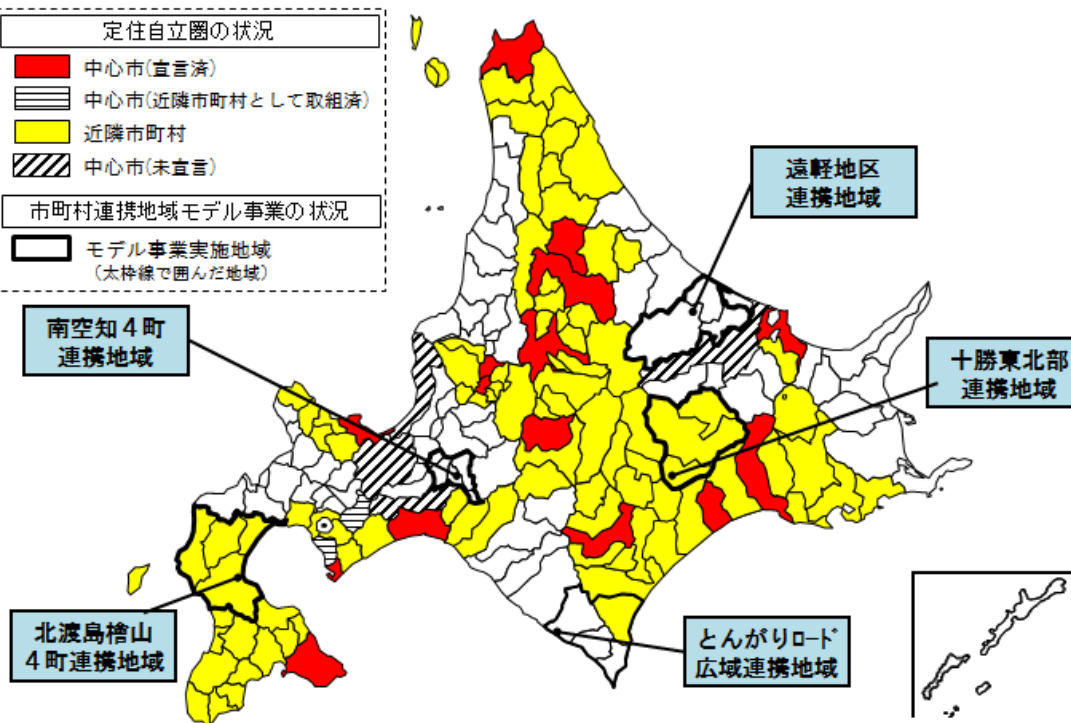
連携中枢都市圏
構想

定住自立圏構想

市町村連携地域
モデル事業

振興局・市町村
協働ガバナンス事業


道内の広域連携の取組状況



市町村連携地域モデル事業の取組内容 (H27～)

連携地域名	市町村名	事業概要
南空知4町 連携地域	南幌町 由仁町 長沼町 栗山町	<ul style="list-style-type: none"> TV放送や航空会社を活用したプロモーション 地域課題、社会情勢に応じた行政職員専門研修
とんがりロード 広域連携地域	浦河町 様似町 えりも町 広尾町	<ul style="list-style-type: none"> 都市部の修学旅行生の農林漁家への滞在など首都圏プロモーション 観光人材の育成、広域観光組織のあり方検討
北渡島檜山4町 連携地域	八雲町 長万部町 今金町 せたな町	<ul style="list-style-type: none"> 食のビジネス交流会、研修会、専門家商談会 新幹線開業に伴う観光動態調査
遠軽地区 連携地域	遠軽町 佐呂間町 湧別町	<ul style="list-style-type: none"> 産婦人科常勤医の減少に伴う医師招へい活動 お試し暮らし等の医師確保対策
十勝東北部 連携地域	本別町 足寄町 陸別町	<ul style="list-style-type: none"> 移住定住住宅への活用を目的とした空き家の実態調査 3町雇用促進協議会の設置

北海道創生総合戦略の概要

平成27年10月  北海道

めざす姿と取組の基本方向

【めざす姿】
幅広い世代が集い、つながり、心豊かに暮らせる包容力のある北海道

【取組の基本方向】

- (1) 広大な土地と恵まれた環境の中、安心して子どもを育み、道民一人ひとりの個性に応じた活躍の場をつくる
- (2) 個性的な自然・歴史・文化・産業等を有する多様な地域において、将来にわたり安心して暮らし続けることのできる生活の場をつくる
- (3) 豊かな自然や高い食料供給力など多様な資源を活かし、力強い経済と、生き生きと働くことのできる就業の場をつくる

総合戦略の構成

【重点戦略プロジェクト】
総合戦略の中核となる施策群

【基本戦略】

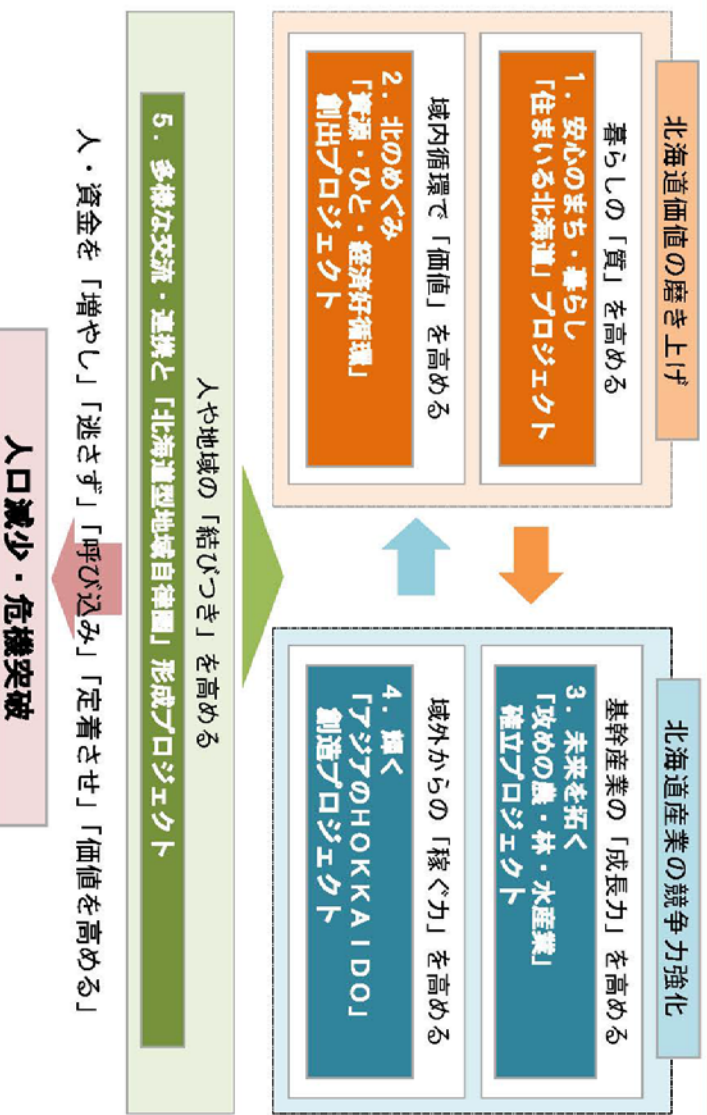
5つの柱に沿った総合的な人口減少対策の方向性を提示

- 1 子どもを生き育てたいという希望をかなえる
- 2 住み続けたいと思える生活環境を整える
- 3 食や観光をはじめとする力強い産業と雇用の場をつくる
- 4 北海道らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す
- 5 多様性を活かして、北海道らしい連携により地域を形づくる

【地域戦略】

振興局が中心となって進める広域的な施策の方向性を提示

重点戦略プロジェクトの枠組



重点戦略プロジェクトの概要

基本戦略に掲げる施策の中から、総合戦略の中核となる施策を絞り込むとともに再構築を行い、戦略の推進期間を通じ政策資源を集中投入し、特に重点的に推進すべき施策群を「重点戦略プロジェクト」として設定する。

〈プロジェクトの着眼点〉

- ・ 本道の強みや資源を最大限に活用し、北海道だからこそ可能なプロジェクト
- ・ 既存の枠組みや発想にとらわれず大胆に挑戦するプロジェクト
- ・ 国内外のモデルとなり、北海道創生を牽引するプロジェクト

1. 安心のまち・暮らし「住まいる北海道」プロジェクト

子育てやゆとりある生活に適した本道の暮らしのブランド化と発信により、誰もが自らの個性に応じ活躍し、心豊かに安心して暮らし続けるとともに、多くの人々を呼び込むことができる地域社会をつくる。

安心子育て環境づくり
地域ぐるみの「結婚・妊娠・出産・子育て」サポート体制づくり

多様な主体の活躍の場づくり
女性活躍の「見える化」と応援強化
・ 若者、アクトイブ・シニア等の活躍の場づくり

「北海道暮らし」のブランド化

- 〈呼び込み〉
 - ・ 多世代のニーズに応じたサポート体制の強化による移住促進
 - ・ 本社機能や研修機能、テレワークなど新たな視点による企業誘致
- 〈まちづくり〉
 - ・ 「生涯活躍のまち（日本版 OORU）」構想の地域展開
 - ・ コミュニティビジネスの創出
 - ・ 多世代が交流し、多様なサービス支援を担うネットワーク型の小さな拠点づくり

「安心」の医療・福祉基盤

- ・ 医師、看護師、介護職員、保育士などの育成・確保
- ・ 広域分散型の地域構造に対応した周産期・救急医療体制の構築（マテイクカルウイング等）
- ・ 再生医療や創薬など先端医療の振興と健康長寿関連産業の集積促進

2. 北のめぐみ「資源・ひと・経済好循環」創出プロジェクト

食をはじめとする地域資源の掘り起こしや磨き上げ、ネットワーク化、豊富なエネルギー資源の活用などを通じ、資源・ひと・経済の循環を促進し、地域外への移出の拡大や内需、雇用の創出につなげる。

価値を創造する地域産業の育成・強化

- ・ ものづくり産業などにおける産業間や地域間のネットワークによる新製品・新技術の開発促進
- ・ 女性や若者などの創業サポート体制の構築

地域を担う人づくり

- ・ グローバル人材の育成・確保、海外からの人材の受入促進
- ・ ICTを活用した遠隔授業の仕組みづくり

エネルギー自給・地域循環システム

- ・ 再生可能エネルギーの利用拡大、エネルギーの自給・地域循環の促進

自然との共生モデルの創出

- ・ エンジカの活用用地域モデルの創出

地域における循環の仕組みづくり

- ・ 中小・小規模企業の成長をリードするプロジェクト
- ・ 中小・小規模企業の確保
- ・ 地域における異業種種間の連携の推進
- ・ 中小・小規模企業の持続的発展に向けた取組の推進

重点戦略プロジェクトの概要

3. 未来を拓く「攻めの農・林・水産業」確立プロジェクト

我が国の食料の安定供給に貢献する本道農業・水産業の国際競争力を高めるとともに、本道ならではの森林資源のブランドインゲを進めることにより、地域に所得と雇用を生み出すチャレンジングな農林水産業を確立する。

- 農業の競争力の強化**
 - 先端技術駆使したスマート農業の推進
 - 6次産業化・農商工連携ビジネスモデルの普及拡大
 - 酪農の生産拡大や放牧酪農の推進に向けた仕組みづくり
 - 薬用作物の地域生産モデルの構築
- 林業の新たなブランドづくり**
 - 道産木材を活用したCLTの実用化
 - 次世代樹種「クリーソナチ」のブランド化
- 水産業の持続的な発展**
 - 日本海地域における新たな生産体制づくり
 - ブリ・サバなど新たな北海道ブランドの創出

・農業分野における企業との連携による新たな担い手確保モデルの構築など、農林水産業の成長を支える人材の育成・確保

販路拡大・輸出戦略の推進

- コメ、青果品、ホタテガイ、サケなど品目別・国別の輸出戦略の策定・推進
- HACCP取得促進や海域モニタリングの実施
- 低コストで品質の優れた道産木材の加工・流通体制の整備

4. 輝く「アジアのHOKKAIDO」創造プロジェクト

人口減少に伴う域内需要の減少に対応するため、グローバル化の潮流を捉え、アジアの成長力を着実に取り込むとともに、日ロ国境地域の振興などを通じて、国際競争力の高い北海道を創造する。

- HOKKAIDOブランドの発信**
 - 世界に発信するクールHOKKAIDOの新展開
- 食を中心とした輸出拡大**
 - ターゲットを絞った戦略的グローバルチェーンの構築
 - HACCP導入による食品関連産業のブランド力強化
 - ハラール・マーケットの食需要の獲得
- ASEAN 東アジア・中東**
- 観光受入体制の飛躍的拡充**
 - 航空ネットワークの拡充などによるインバウンドの大幅拡大
 - 「新幹線時代」の交通網整備と誘客促進
 - 国内外からの投資の促進による観光客の受け皿づくり

国境地域の振興

- ロシア 極東**
 - 北洋漁業縮減に対応するための総合対策
 - ロシアビジネスをワンストップで支援する体制づくり
 - 日ロフェリー定期航路、難島航路・航空路の維持確保
 - 北極海航路活用に向けた取組の促進
 - 北方領土隣接地域の振興

5. 多様な交流・連携と「北海道型地域自律圏」形成プロジェクト

地域構造に着目し、北海道ならではの地域間・産業間、主体間の多様な連携モデルを創出することにより、地域の特徴や実情に応じた行政サービスやコミュニティを維持し、人口減少下においても活力ある地域を形成する。

